

ひなたぼっこ通信

2016年
4月号

2周年を迎えて

ケアハウス施設長 樋口義男

桜、水仙、チューリップなどが一斉に咲き乱れ春本番を迎えております。ケアハウスひなたぼっこは早いもので、2周年を迎えました。



4月からケアハウスの所長を務めることになりました、樋口義男です。オープン時から携わっておりますが、介護の世界はまだ2年と経験も少なく、責任の重さを痛感しております。私の性格は「失敗してもよくよししない」。立ち直りが早い？ 常に現状に満足しない！です。新年度がスタートし、残念に思ったことは、オープン以来一緒に働いてきた仲間が退職してしまったことです。企業は「人」と言われますが、「人」の部分がしっかりしていないとよい会社はできないと思います。介護施設も一般の会社も全く同じで、会社づくりの土台となる社員が定着し、働き甲斐をもって勤められる職場環境が不可欠です。ご利用者が幸せで安心して、楽しく暮らしていただくためにはまず職員が幸せになるように、働きやすい職場が必要で、職員間、

ご利用者様との信頼関係の構築が重要だと考えます。新しい職員も加わり間もないため、業務の習得、職員やご利用者様とのコミュニケーション作りにも時間がかかりますが、しばらくの間ご迷惑をおかけしますがご了承ください。今年には施設の目標ともいえるべき理念、運営方針を新たに策定し、職員が同じ目標に向かって業務を進めていきます。また法人の理事でもある山崎諭氏を副所長にお迎えし、リハビリ効果も大きい歌の会も多く実施していく予定です。「ひなたぼっこ」という名にふさわしい暖かい施設を目指して、職員一同取り組んで参りますので宜しくお願い致します。

『地域密着型』に移行

宅老所は、4月からの地域密着型への移行に備えこの間、365日デイやお泊りの取り組み、重度者や認知症への対応、機能回復訓練分野の強化等、体制づくりや職員の教育の取り組みを重ねてきました。またハード面では、部屋の改修や浴室への重度対応用の車椅子やリフト浴の設置、車椅子用のトイレの増設等行い準備をしてきました。これからも地域に根差した宅老所の運営に力を入れ、ご利用者やご家族の要望に答えられる「断らない介護」を目指していきます



たいと考えております。

宅老所のお彼岸ランチ

3月のランチの日は、お彼岸ですのでおはぎを準備しました。ご利用者のご家族や地域の方にも参加していただき、ボランティアさんも含め、みんなで大騒ぎし、あんどエゴマのおはぎを作りました。とても賑やかで楽しいランチになりました。あまりにおいしいうなおはぎに、写真を撮るのも忘れてしまいました。皆さんにお見せできなくて残念です。参加されたご家族様より感想をお寄せいただきましたので、ご紹介いたします。

『ひなたぼっこランチ』に参加して

3月19日「ひなたぼっこランチ」に参加しました。以前から望んでいたのですがこの日やっと実現し、妻の介護に駆けつけた娘と三人での参加でした。400円のランチ？と少し気になっていたのですが、春分を迎えて「エゴマのおはぎ」が添え物と出され、私にとって「してやったり」でした。エゴマの香りとおはぎの甘みが、得も言われぬ味わいをお出ししていました。通所者の皆さんの各種コミュニケーションが愛情のある「食」ともにそれぞれの「脳活性化」をうながしているんだなと感じられる一時でした。(F様)

小さな太陽に



ご縁があり入職して半年、今日も廊下をパタパタと走っています。「ゆっくりでいいんだよ」と主任の言葉。パットを交換し、車椅子へ移乗していただき、食事の用意。頭には次から次へと仕事の段取りが…。えっ!! パットがうまく交換できない、時間がない、早くしなくちゃあ。ふと顔を上げると、利用者のSさんは私を見ている、私の姿をしつかりと。パットの交換のことばかり考えてSさんを見ていなかった、Sさんのことを考えてあげることができなかった、ただ機械のごとく交換しようとしていたことに思い至る。年を重ねることで衰えていく身体の機能はあるでしょうが、失われていく部分ではなく、その方に残されたかけがえのない所、持っている力をできるだけ見てあげることができたらなあと思います。「お尻、ちよっと上げてもらえますか?」「いいよ」パットがうまく入る。「ありがとう」とSさんからの言葉。こちらこそありがとう。互いの顔がほころびました。

優しい態度、優しい笑顔、優しい言葉で雨の日も、曇りの日も、風の日もいつも変わらずに利用者さんに接することができたらなと思います。「小さな太陽」になりたいと願いつつ。(ケアハウス1F T)



ひなたぼっぺいグループホームの春だ

4月14日(木)と16日(土)に行います。

時間は 10:00~13:00です。

血压測定・健康相談・介護相談・小物作りなど行います。

沢山の方の参加をお待ちしています。

お申込みは、宅幼老所 山下までどうぞ

ちよっぺいグループホームの春だ

「どおくれ持ってきてごらん」と洗濯物をたたんで下さったり、食器拭きや食事の盛り付けを快く手伝って下さる皆さんに、いつもとは変わったひと時を。

グループホーム1Fではひな祭りの日にご利用者の方にお化粧をさせて頂きました。「化粧なんてしたことないよー」「うわあきれいい!!」優しい桜色の口紅に素敵なお化粧。別の日にはラベンダー入りでアロマハンドマッサージを。

「こんな事初めてだよ」と戸惑う方や「手を握ってもらおうと安心する。気持ちいい」と喜ばれる方。そして「これは何の種?」と皆さんでかいわれ大根の水栽培もしました。「早く大きくなれ」と収穫



して食事会をするのを心待ちにしています。また春の陽気に誘われてお散歩にお出掛けして、ハイ!一句。

大空に 風もあだちか 水仙の花

かいわれの 芽の出っやっつゝ芽よ



避難訓練の通報係とつて

2月1日に職員となりました伊藤と申しませう。皆様から信頼していただける様、頑張つてまいります。宜しくお願いいたします。さて、3月に**グループホーム2F**からテレビの漏電にて火災が発生したとの想定で、グループホーム、宅幼老所合同の避難訓練を実施いたしました。ご利用者様が不安がられないよう事前に訓練であることをお話しし、煙から身を守るために口元にタオルを当てて避難していただきました。私も入職して間もないながら119番通報の大役を仰せつかり、緊張しましたが、よい経験をさせて頂きました。あつてはならないことですが、まさかの時、落ち着いて皆様をお守りできる職員となれるよう努力してまいります。(グループホーム I)

発行 社会福祉法人ひなたぼっこ

理事長 森 正明

〒399-0211

富士見町富士見11650-1

TEL 0266-61-2335

FAX 0266-61-2336